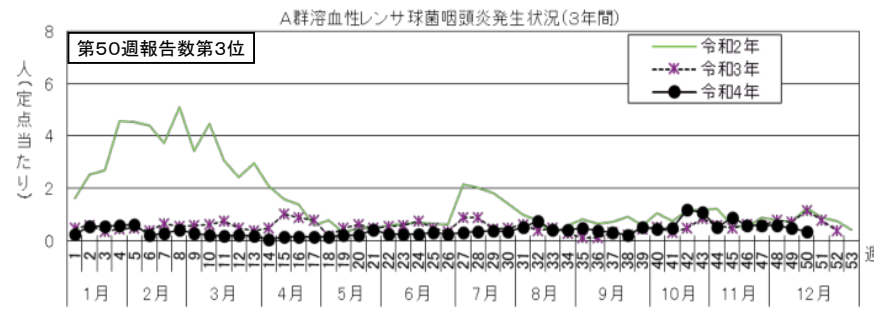
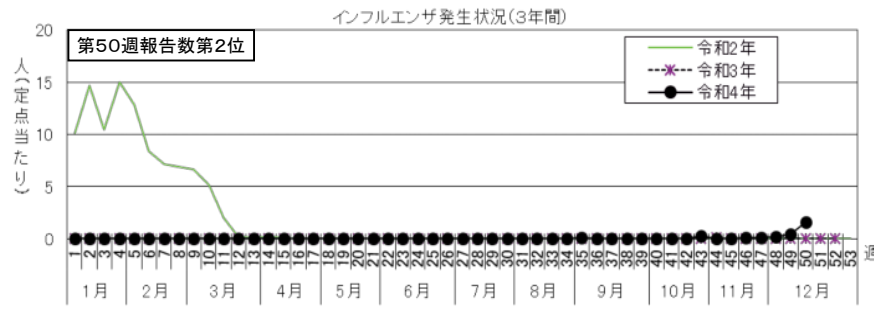
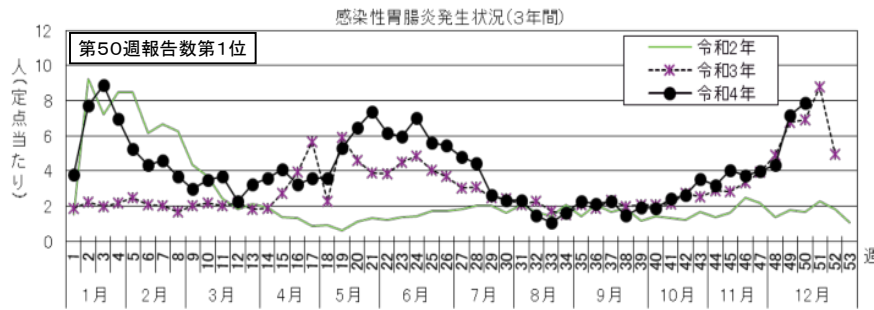


今、何の病気が流行しているか！

【感染症発生動向調査事業から】

令和4年12月12日（月）～令和4年12月18日（日）〔令和4年第50週〕の感染症発生状況

第50週で定点当たり患者報告数の多かった疾病は、1) 感染性胃腸炎 2) インフルエンザ 3) A群溶血性レンサ球菌咽頭炎でした。
 感染性胃腸炎の定点当たり患者報告数は7.86人と前週（7.16人）から横ばいで、例年並みのレベルで推移しています。
 インフルエンザの定点当たり患者報告数は1.64人と前週（0.46人）から増加し、例年並みのレベルで推移しています。
 A群溶血性レンサ球菌咽頭炎の定点当たり患者報告数は0.35人と前週（0.46人）から減少し、例年より低いレベルで推移しています。

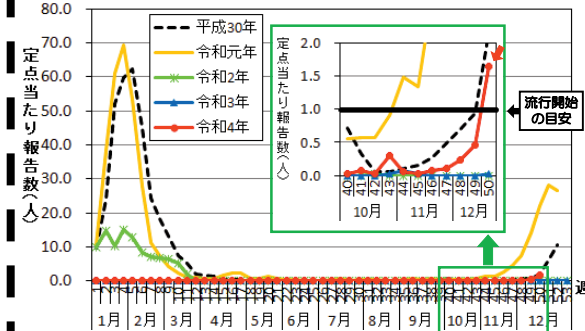


インフルエンザが3年ぶりに流行期に入りました！

川崎市におけるインフルエンザの定点当たり報告数は、令和4年第50週（12月12日～12月18日）に1.64人となり、令和元年以来3年ぶりに流行開始の目安である1.00人を超えました。新型コロナウイルス感染症の流行以降、インフルエンザの報告数は激減していましたが、今年は10月頃から報告数が増加しています。

今後、インフルエンザの感染拡大が予測されるため、川崎市では、高齢者を対象としたインフルエンザ予防接種を令和5年1月31日まで延長しています。早めの接種を御検討ください。

川崎市におけるインフルエンザ発生状況(5年間)



高齢者を対象とした定期的インフルエンザ予防接種

◆対象者

川崎市内に住民登録があり、接種を受ける御本人が接種を希望している方のうち、次の①又は②にあてはまる方

- ① 令和4年12月31日時点で65歳以上の方
- ② 令和4年12月31日時点で60歳～65歳未満の方
- ・心臓、腎臓、呼吸器の機能障害（障害1級程度）のある方
- ・ヒト免疫不全ウイルスによる免疫機能障害（障害1級程度）のある方

◆実施期間と回数

令和4年10月1日～令和5年1月31日の間に1回

◆接種を受けられる場所

川崎市予防接種個別協力医療機関
 （市が指定した市内約680か所の医療機関）

◆自己負担額

無料